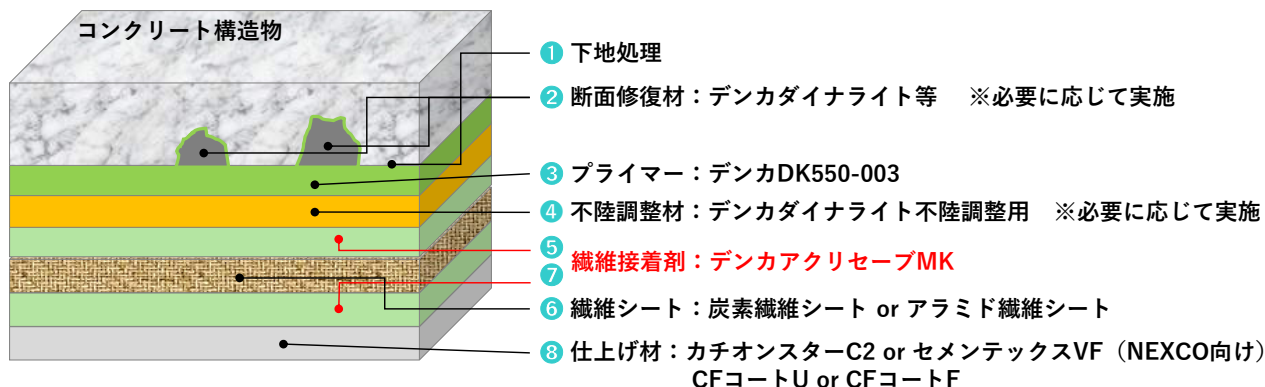


デンカ アクリセーブ MK

1. はじめに

デンカ アクリセーブ MK は二液主剤型のアクリル系含浸接着樹脂です。炭素繊維シートやアラミド繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修・補強を行う際の繊維シート接着剤に適した材料です。繊維シートの含浸性に優れ、低温でも 1 日で硬化するため、特に冬季の施工性に優れます。



2. 特 長

①低温硬化性

低温硬化性に優れ、 -5°C でも硬化するため、冬季施工が可能です。

※ 5°C 未満で施工する際は専用の硬化促進剤を使用ください。

②速硬化性

短時間で塗膜硬化するため、時間制限のある施工に適し、工期短縮を可能とします。

③安全衛生

低臭気で皮膚刺激性の低い原材料を使用しています。

3. 荷 姿

荷 姿	デンカ アクリセーブ MK	
	A 剤	B 剤
30kg セット	15kg 缶	15kg 缶
5kg セット	2.5kg 容器	2.5kg 容器

4. 性 状 例

項 目	デンカ アクリセーブ MK	
	A 剤	B 剤
主 成 分	変性アクリル樹脂	変性アクリル樹脂
外 観	半透明粘稠液	紫色系粘稠液
混合比（質量比）	1	1
混合粘度[mPa・s]（ 25°C ）	34,400	
硬化物比重	1.16	
可使時間[分]（ 25°C ）	28	

5. 硬化物の特性例

試験項目	測定値例	試験方法
引張強さ [N/mm ²]	33.7	JIS K 7161
曲げ強さ [N/mm ²]	56.9	JIS K 7171
引張せん断接着強さ [N/mm ²]	26.9	JIS K 6850

6. FRP の特性例

試験項目	測定値例	試験方法
引張強度 [N/mm ²]	3,890	JIS A 1191
ヤング係数 [N/mm ²]	2.66 × 10 ⁵	JIS A 1191

※ 高強度炭素繊維シート（600g/m²）との組み合わせ試験

各種繊維シートとの組合せ可否については当社までお問い合わせ下さい

7. 取り扱い方法

- ご使用前によく攪拌、混合してください。
- 施工面の汚れや油分などを取り除き乾燥させてください。
- 下地との密着力を確保する為に、プライマー（デンカ DK550-003）をご使用ください。
- A 剤と B 剤を 1 : 1（質量比）の混合比で計量し、攪拌、混合してください。
- 一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれの量にしてください。
※完全硬化後にタック感（ベタベタ感）が残る場合がありますが、異常ではございません。
- 器具類に付着したものは、硬化する前に有機溶剤（アセトン等）にて洗浄してください。
- 冷暗所に保管してください。

保証期間

・ 20℃保管：3 ヶ月

・ 30℃保管：2 ヶ月

※工場出荷日より起算

警告

● ハードロックⅡは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。

● 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。

● 皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。

● 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。

● 目に入れたり、飲んだり絶対にしてしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。

● 湿気や金属との接触を避け、密栓の上冷暗所に保存してください。

● 廃棄する場合は、A/B剤を少量ずつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した（硬化中）の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。

● 接着剤が付着した可燃物（ウェス、段ボール、養生シート等）、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。

● 本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

自然発火の注意

- ・ ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- ・ 樹脂の付着したウェス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- ・ 硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

Denka

デンカ株式会社 特殊混和材部

本社：〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1

TEL 03-5290-5363 FAX 03-5290-5085